



## 第19回 環境リモートセンシングシンポジウム

場所 千葉大学けやき会館 3階 レセプションホール・会議室4

日時 2017年2月16日(木) 9:00~17:00

### —プログラム—

9:00-9:10 開会の挨拶 安岡センター長(3階 レセプションホール)

【講演1】 9:15-11:15 (3階レセプションホール)

(座長 1-3: 梶原康司、4-6: 入江仁士) (発表: 15分、質疑: 5分)

(1) 9:15-9:35

衛星画像と光学・レーダー観測による九州の火山噴煙の解析

木下紀正(鹿児島大学・教育学部)・眞木雅之・土田 理・飯野直子・金柿主税

(2) 9:35-9:55

気候モデル数値実験結果による衛星プロダクト導出アルゴリズムの検証

森山雅雄・馬淵和雄(長崎大学・工学研究科)・本多嘉明・梶原康司

(3) 9:55-10:15

紫外ラマンライダーによる対流圏エアロゾルと水蒸気の鉛直分布の観測

村山利幸(東京海洋大学・海洋工学部)

(4) 10:15-10:35

SKYNET 観測エアロゾルパラメータの誤差評価と解析システムの高度化

カトリ プラディーブ(東北大学・理学研究科)・入江仁士

(5) 10:35-10:55

RSTAR を用いた地表面反射率と大気的光学的厚さの同時推定

飯倉善和(弘前大学・理工学研究科)・久世宏明・関口美保・眞子直弘

(6) 10:55-11:15

マイクロ波放射計、散乱計及びメソ気象モデルを用いた洋上風力資源量推定手法の開発

香西克俊(神戸大学・海事科学研究科)

11:20-12:20 【ポスターセッションコアタイム】(3階 会議室4)

12:20-13:30 昼食

【講演 2】 13:30- 15:30 (3階 レセプションホール)

(座長 7-9: 本多嘉明、10-12: 樋口篤志) (発表: 15分、質疑: 5分)

(7) 13:30-13:50

UAV リモートセンシングによる千葉の里山の植物観測

永井信 (海洋研究開発機構・地球表層物質循環研究分野)・梶原康司・鈴木力英・本多嘉明

(8) 13:50-14:10

An Automatic Cloud Detection Method for Landsat Time-series Data and Its Application in Monitoring Phenology of Amazon Forest

Xuehong Chen (Institute of Tibetan Plateau Research, Chinese Academy of Sciences)

Shuli Chen・Miaogen Shen・Wei Yang・Jin Chen

(9) 14:10-14:30

熱帯林における森林モニタリング技術の確立

加藤 顕 (千葉大学・園芸学研究科)・若林裕之・早川裕弐・小花和宏之・

J. T. スリ スマンティヨ

(10) 14:30-14:50

ひまわり 8号を用いた二方向性反射特性の解析

松岡真如 (高知大学・教育研究部)・赤塚慎・本田理恵・高木方隆

(11) 14:50-15:10

太陽光を利用した群落レベルでのスタンドオフ植物蛍光測定: 圃場・森林への応用

増田健二 (静岡大学・技術部)・眞子直弘・本間香貴・村松加奈子・吉村謙一・小南裕志・

久世宏明

(12) 15:10-15:30

環境問題の現場における超学際研究の新展開

近藤康久 (総合地球環境学研究所・研究基盤国際センター)・近藤昭彦・木本浩一・石井励一郎・

奥田 昇・窪田順平・手代木功基

【講演 3】 15:40- 17:00 (3階 レセプションホール)

(座長 13-16: J. T. スリ スマンティヨ) (発表: 15分、質疑: 5分)

(13) 15:40-16:00

リモートセンシングと短期地震予測

服部 克巳 (千葉大学・理学部)

(14) 16:00-16:20

震災時の津波遡上災害における人命リスクの評価と減災対策  
—神奈川県海岸域の津波遡上における災害弱者の特性—  
金子 大二郎 (株式会社 遥感環境モニター)

(15) 16:20-16:40

阿蘇山・仙酔峡における斜面崩壊の高精細地形解析  
齋藤 仁 (関東学院大学・経済学部)・内山庄一郎・小花和宏之・早川裕弐・  
J.T. スリ スマンティヨ

(16) 16:40-17:00

PALSAR-2 画像を用いた 2016 年熊本地震の建物被害把握  
劉ウエン (千葉大学・工学研究科)・山崎文雄

17:30-19:00 意見交換会 (けやき会館 1 階 レストランコルザ)

---

【ポスターセッション】(3階 会議室 4) コアタイム 11:20-12:20 掲示時間 8:45-13:30  
ポスターサイズ: A0版

(1) 小型無人航空機 (UAV) を用いた森林樹冠の地表面モデル (DSM) の作成

齋藤 有希 (首都大学東京・都市環境科学研究科)・酒井健吾・長谷川宏一・泉 岳樹・松山 洋

(2) 地上型レーザスキャナを用いた広葉樹の材積推定手法の検討

柳原絵里奈 (宇都宮大学・農学部)・有賀一広・田村太壺・加藤 顕

(3) MERIS データによる霞ヶ浦基礎生産量の推定

松下文経 (筑波大学・生命環境系)・竹ヶ原彬人・楊 偉

(4) 擬似的多方向観測データを用いた針葉樹林・広葉樹林の特徴抽出

曾山典子 (天理大学・人間学部)・村松加奈子・醍醐元正・本多嘉明

(5) 探査機リモートセンシングデータを用いた火星大気環境の研究

野口克行 (奈良女子大学・研究院自然科学系)・入江仁士

- (6) 地上観測データ解析による奈良におけるエアロゾルの研究  
久慈誠（奈良女子大学・研究院自然科学系）・石原愛花・藤井美有紀・村崎あつみ
- (7) Kintex-7 を用いた UAV 搭載 CP-SAR システム  
文屋 勝（千葉大学・融合科学研究科）・難波 一輝・J.T. スリ スマンティヨ
- (8) TRMM 時代以前の全球降水マッププロダクトの試作と降水の気候変動解析  
山本宗尚（京都大学・理学研究科）・重 尚一・樋口篤志
- (9) TIR anomaly possibly related to the large earthquake  
高新茹（University of Basilicata）・Nicola Genzano Valerio Tramutoli・服部克巳
- (10) TIR anomaly possibly related to the large earthquake using MT-SAT data  
Nicola Genzano（Chiba University）・Valerio Tramutoli・Katsumi Hattori
- (11) Statistical Study of Receiver Operating Characteristic Curve on Seismo-Ionospheric Precursors of the Total Electron Content Associated with Large Earthquakes in Japan  
Tiger Jann-Yenq Liu（National Central University）・Katsumi Hattori・Dimitar Ouzounov・Yuh-Ing Chen・Cheng-Yan Liu
- (12) フラックス最適化の大気 CO<sub>2</sub> 濃度へのインパクト  
丹羽 洋介（気象庁気象研究所・海洋・地球化学研究部）
- (13) 火星用 LED LIDAR の屋外性能評価  
乙部 直人（福岡大学）・椎名 達雄・千秋 博紀・梅谷 和弘・はしもと じょーじ・眞子 直弘・久世 宏明
- (14) UAV-SfM 測量による斜面崩壊前兆現象抽出の試み  
小花和 宏之（株式会社 ビジョンテック）・早川 裕弐・加藤 顕
- (15) Study for dynamical process of atmospheric compositions in troposphere and stratosphere using satellite data  
- Part II: Seasonal and Intraseasonal variations of CO<sub>2</sub> and CH<sub>4</sub> from GOSAT FTS TIR -  
江口菜穂（九州大学・応用力学研究所）・齋藤尚子
- (16) アイスアルジーのリモートセンシングの開発  
朝隈 康司（東京農業大学・生物産業学部）
- (17) 光学式ガス検出センサシステムの開発検討  
大前宏和（株式会社 センテンシア）・三宅俊子・J.T. スリ スマンティヨ

- (18) 近距離ライダーによる地表面大気計測データからの情報抽出  
森 康久仁 (千葉大学・融合科学研究科)
- (19) リモートセンシングデータを活用したミツバチの生息・生育空間の分析 その4  
岡田 信行 (株式会社 オルト都市環境研究所)
- (20) カメラを用いた火星表層環境観測の検討  
千秋博紀 (千葉工業大学・惑星探査研究センター)・はしもとじょーじ・野口克行・鈴木 睦・  
久世宏明・眞子直弘・杉山浩一郎・高橋芳幸・大西将徳
- (21) 白色光レーザーを用いた温室効果ガスの計測法の開発  
染川智弘 (公益財団法人レーザー技術総合研究所)・眞子直弘・久世宏明
- (22) Pi-SAR-2L によるサロマ湖上氷の後方散乱特性解析  
若林 裕之 (日本大学・工学部)・長 幸平
- (23) 無人小型飛行体搭載用 LED ミニライダーによる野外ダスト挙動観測  
椎名 達雄 (千葉大学・融合科学研究科)
- (24) 高精細地形地物情報を用いた植生形状と地形変化の相互作用の評価：  
日本列島中部の中起伏流域を例に  
早川裕弐 (東京大学・空間情報科学研究センター)・蝦名益人・加藤 顕・小花和宏之
- (25) シミュレーションモデルとリモートセンシングを用いた水稻生産量推定法の検討  
佐々木剛志 (東北大学・農学部)・加藤瑞稀・本間香貴・本郷千春・牧雅康
- (26) L-バンド合成開口レーダのオブジェクトベース解析による津波被害評価関数の開発  
郷右近英臣 (東京大学・生産技術研究所)・越村俊一・目黒公郎・劉 ウェン・成毛麻里子  
山崎文雄
- (27) 生活環境圏における CO<sub>2</sub> 濃度の計測と検証  
桑原祐史 (茨城大学・広域水圏環境科学教育研究センター)・飯田大貴・奥出信一郎・眞子直弘  
久世宏明